



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075

URL <http://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森地 高文

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 古舘 浩保

(TEL) 03-5579-5201

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	180,342	△26.2	566	△75.8	709	△68.1	63	△94.4
2020年3月期第1四半期	244,279	6.4	2,342	16.8	2,223	△9.5	1,138	△41.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △374百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 1,139百万円(△3.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.14	—
2020年3月期第1四半期	128.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	263,883	53,881	19.6
2020年3月期	284,477	54,571	18.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 51,759百万円 2020年3月期 52,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	35.00	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期中間並びに期末の配当予想につきましては現時点で未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては現時点で未定です。詳細は添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,860,562株	2020年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,714株	2020年3月期	5,714株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,854,848株	2020年3月期1Q	8,854,944株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する物ではございません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、極めて厳しい状況にありました。わが国経済においても、緊急事態宣言期間における消費、輸出等の急速な減少に伴い、企業収益が大幅に悪化しました。

このような環境の下、当社グループの第1四半期連結累計期間における売上高は1,803億42百万円(前年同四半期比26.2%減)、営業利益は5億66百万円(同75.8%減)となり、経常利益は7億9百万円(同68.1%減)となりました。また、当社の海外投資先の株式について、その実質価額が著しく低下したため、特別損失として投資有価証券評価損を4億54百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円(同94.4%減)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は、国内向けの取扱量が減少し、価格も下落しました。輸出向けは、取扱量は増加しましたが、価格は下落しました。線材製品は、国内向けの取扱量が減少し、価格は横ばいとなりました。輸出向けは、取扱量が減少し価格も下落しました。

この結果、売上高は603億75百万円(前年同四半期比26.5%減)となり、セグメント利益は3億55百万円(同69.6%減)となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料、チタン原料は取扱量が減少しましたが、冷鉄源は増加しました。

この結果、売上高は535億57百万円(前年同四半期比33.1%減)となり、セグメント利益は1億34百万円(同59.3%減)となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は、端子コネクタ向け板条及び空調向け銅管の取扱量が減少しました。アルミ製品は、自動車向けアルミ押出材及び軽圧板条の取扱量が減少しました。非鉄原料は、再生塊アルミ、銅スクラップの取扱量が減少しました。

この結果、売上高は416億29百万円(前年同四半期比24.9%減)となり、セグメント利益は1億74百万円(同56.6%減)となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は、熱処理炉や建設機械部品の取扱いは減少しましたが、圧延設備、電池材料の取扱いが増加しました。情報関連商品は、液晶用材料やHD関連機器の取扱いは減少しましたが、半導体関連機器の取扱いが増加しました。

この結果、売上高は154億37百万円(前年同四半期比1.0%増)となり、セグメント利益は1億1百万円(同55.4%減)となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料の取扱量は、国内は化工機向けが増加しましたが、建築・自動車・建設機械向けが減少し、輸出関連も減少しました。溶接関連機器は、鉄骨溶接ロボットの取扱いは堅調に推移しましたが、汎用溶接機の取扱いが減少しました。生産材料は、溶剤原料の取扱量は堅調に推移しましたが、鋼材・ステンレス材の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は92億90百万円(前年同四半期比17.6%減)、セグメント損失は39百万円(前年同四半期セグメント利益1億円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,638億83百万円となり、前連結会計年度末比205億94百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金と前払金の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,100億1百万円となり、前連結会計年度末比199億5百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債のその他に含まれる預り金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は538億81百万円となり、前連結会計年度末比6億89百万円の減少となりました。これは主に為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期(第2四半期、期末)の業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当社グループの事業領域全般に及んでいることから、現時点においての合理的な算定が困難となっております。なお、状況が改善し業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,603	9,018
受取手形及び売掛金	155,324	141,268
電子記録債権	7,394	9,153
商品及び製品	45,154	46,223
仕掛品	762	1,263
原材料及び貯蔵品	1,145	1,346
前払金	10,453	8,267
その他	4,502	4,227
貸倒引当金	△184	△169
流動資産合計	241,157	220,599
固定資産		
有形固定資産	9,428	9,365
無形固定資産	891	992
投資その他の資産		
投資有価証券	27,848	27,714
その他	7,240	7,300
貸倒引当金	△2,088	△2,088
投資その他の資産合計	33,001	32,926
固定資産合計	43,320	43,284
資産合計	284,477	263,883
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	120,368	104,548
電子記録債務	12,636	12,315
短期借入金	41,231	41,386
未払法人税等	823	257
賞与引当金	1,050	557
その他	24,807	21,838
流動負債合計	200,917	180,903
固定負債		
長期借入金	24,549	24,370
役員退職慰労引当金	103	105
退職給付に係る負債	848	828
その他	3,487	3,792
固定負債合計	28,988	29,098
負債合計	229,906	210,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	42,789	42,542
自己株式	△17	△17
株主資本合計	51,030	50,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,680	1,984
繰延ヘッジ損益	61	44
為替換算調整勘定	△349	△1,053
その他の包括利益累計額合計	1,392	975
非支配株主持分	2,147	2,122
純資産合計	54,571	53,881
負債純資産合計	284,477	263,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	244,279	180,342
売上原価	236,130	174,500
売上総利益	8,148	5,841
販売費及び一般管理費	5,805	5,275
営業利益	2,342	566
営業外収益		
受取利息	33	27
受取配当金	373	365
デリバティブ評価益	97	44
持分法による投資利益	137	138
雑収入	139	120
営業外収益合計	782	696
営業外費用		
支払利息	343	226
売掛債権譲渡損	105	69
為替差損	282	98
雑損失	170	159
営業外費用合計	901	553
経常利益	2,223	709
特別利益		
特別損失		
投資有価証券評価損	393	454
会員権評価損	13	—
特別損失合計	407	454
税金等調整前四半期純利益	1,815	254
法人税、住民税及び事業税	378	134
法人税等調整額	260	48
法人税等合計	638	183
四半期純利益	1,177	71
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,138	63

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,177	71
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△276	333
繰延ヘッジ損益	51	△17
為替換算調整勘定	165	△637
持分法適用会社に対する持分相当額	21	△125
その他の包括利益合計	△37	△446
四半期包括利益	1,139	△374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,084	△353
非支配株主に係る四半期包括利益	54	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について

当社グループは2020年度の一定期間にわたり、当該影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りの中でも比較的重要性のある、債権評価、たな卸資産評価、繰延税金資産の回収可能性の判断を行っています。

なお、前連結会計年度末時点の仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	82,173	80,017	55,454	15,285	11,273	244,205	73	—	244,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	1	2	68	△70	—
計	82,173	80,017	55,454	15,285	11,275	244,207	142	△70	244,279
セグメント利益又は 損失(△)	1,168	329	400	228	100	2,228	△5	1	2,223

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	60,375	53,557	41,628	15,437	9,289	180,288	53	—	180,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	0	1	64	△66	—
計	60,375	53,557	41,629	15,437	9,290	180,290	118	△66	180,342
セグメント利益又は 損失(△)	355	134	174	101	△39	726	△17	—	709

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。